

東京都 EPA 「ヴィンセントの奇跡」の紹介！！

日本語教師から見放された受験者が現役合格

- ※ 今回の介護士国家試験合格率は、例年になく低い合格率 37.9% だった。 37.9% は過去 2 番目に低い合格率だ。 国別にみると、ベトナム人が 84.3%、インドネシア人が 36.5%、そして、一番低いフィリピン人は 22.8% だった。
- ※ ベトナム人の合格率は高いが、合格後の定着率は 3 か国の中で、一番低いと言われている。 これは、問題だ。

- ※ 合格率が高くても、介護分野で働く期間が短ければ決して、人材不足を補うとは言えない。
- ※ 今、外国人人材の問題は「定着」という領域に関心が強まっている。 この問題を解決するには、「外国人対応」の基本的な知識が無ければ、人材確保が困難となり、施設の存亡に関わってくるだろう。

I. 【「ヴィンセントの奇跡」の手紙紹介！】

★ 私が入職 1 年目の時日本語学校で勉強している時、私を含めて他の留学生も「先生は言葉の意味をうまく説明してくれない」と言っていました。そして、自分で『みんなの日本語』を読んで、単語と文章と文法と助詞の意味を翻訳していましたが、それを理解するのが難しかったです。 あとは、日本語の先生が私に「自分で復習しなさい」と言いました。私の日本語はあまり上手になりませんでしたので、入職 2 年目に私は別の日本語学校のオンライン授業を受け始めましたが、そこでも私の日本語がなかなか上達しないので、先生からは厳しい言葉をかけられました。

★ だから、私の日本語の問題について施設の学習支援担当者に相談したところ、ことばの研究社の小木先生を新しい日本語の先生として、紹介してくれました。 2023 年 12 月に小木先生から教えてもらい始めました。 小木先生は、とても専門家の先生で、私に勉強するための本をくれて、私がこれから学ぶ内容を、理解できるように分かりやすく説明してくれました。 そしたら、不思議と 3 回目の勉強から同僚と少し話したり、コミュニケーションができるようになりました。 勉強は日本語だけでした。

★ 介護士国家試験は非常に難しいので、今年の試験を受ける前に復習に集中できるよう、1 週間の休暇をとりました。 そして、試験を受けた時、石井先生が「キーワードとプラス・マイナスと受験テクニック」を教えてくれたことを覚えていて、心にとめていました。 国家試験のいくつかの問題は、石井先生との勉強で、すでに出題されていたので、試験に合格できると感じていました。 中央法規の模擬試験は、石井先生が教えてくれたテクニックを試してみたので、とても役立ちました。 テクニックの良さが、これで確認されました。 小木先生と石井先生が私の先生であることは、とても幸運でした。 とても感謝しています。 国家試験に合格したのでコミュニケーション能力を高めるために、日本語の勉強を続けたいと思っています。 (原文復刻)

II. 【ヴィンセントの学習経歴】



氏名
YANGZON VINCENT LACBAYO
フィリピン人
既婚男性・44歳
大学、経済学部卒
介護専門知識無し

入職年月日 2021 年 12 月
1、一年目：日本語学校（1 年間で卒業）
2、二年目：日本語学校（オンライン・途中で中止）
3、三年目 12 月から三年目：ことばの研究社
4、中央法規模擬試験 1 回目 3,415 人中 621 位
5、中央法規模擬試験 2 回目 7,150 人中 260 位
6、国家試験受験合格

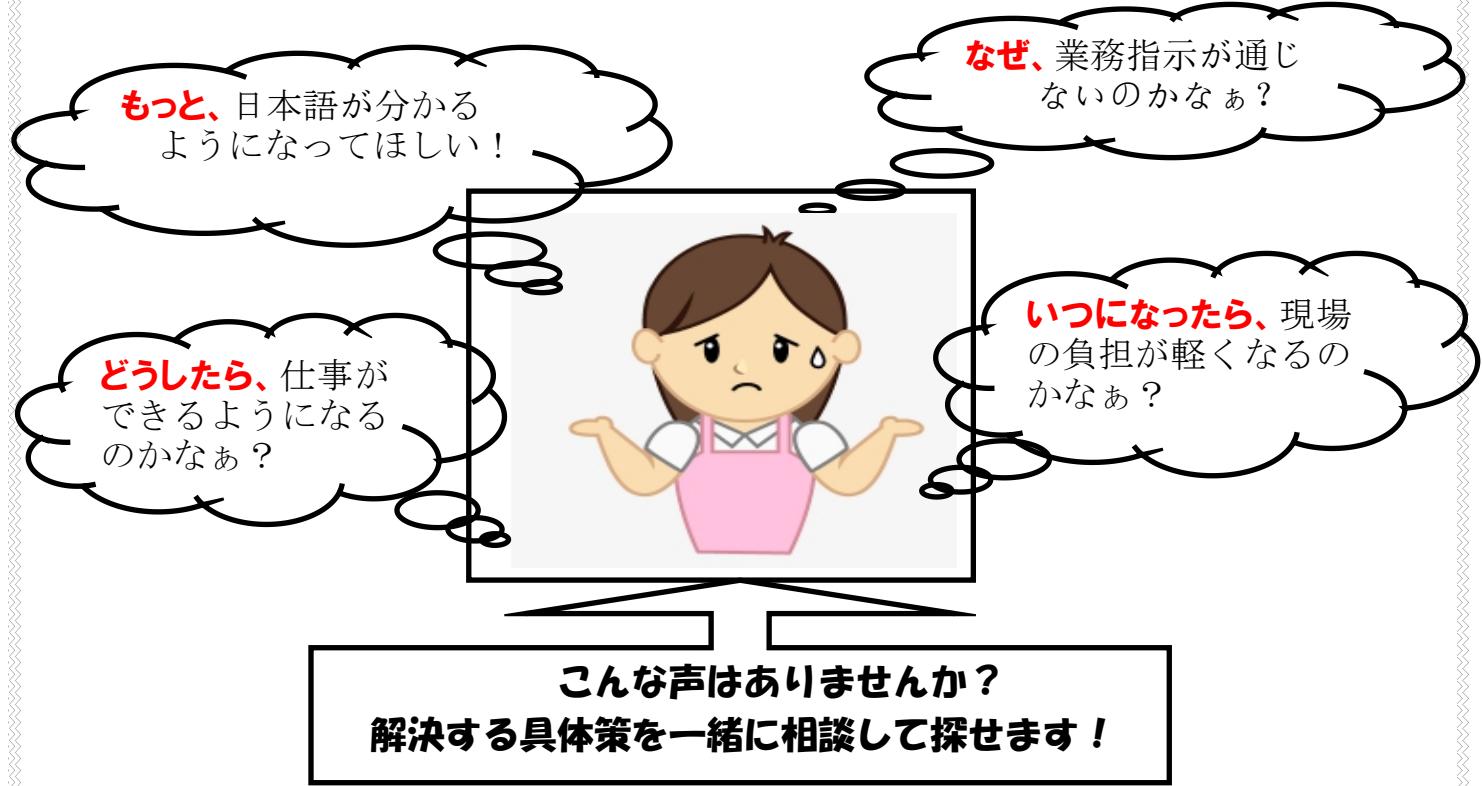
III. 【学習支援担当者の声】

- 日本語学校に通学させ、本人もかなり努力はしていたが、思った通りの上達がみられなかつたため、1 年間で学校を変更して、2 年目は別の学校のオンライン授業に切り替えた。しかし、担当教師との相性も悪かったのか、日本語力の向上もあまり見られなかつた。 教師からは「このまま授業を継続しても合格は厳しい」と指摘された。
 - そのため、ことばの研究社に 2023 年 12 月に駆け込み、授業を依頼した。 同年 12 月末から 3 月の 3 か月間で日本語の基礎力を教育してもらい、4 月から国家試験受験能力と合格能力を指導してもらった。 日本語能力試験 N3 にも合格できなかつた状態なのに、国家試験に合格することができたことは、非常に驚いている。
- (東京都 ハートランド・ぐらんぱぐらんま)

IV. 【ことばの研究社の声】

- ヴィンセントの入学時の言語能力は、10 分間テストの結果、日本人の 3 歳児レベルだった。 3 か月間で基礎言語能力を養い、さらに、3 か月間で生活言語能力を、6 か月間で国家試験合格能力を養った。 1 か月 1 回 (2 時間) の授業を中心に、日本人の 3 歳児から高校卒の言語能力まで高めた。
- 弊社では、「自閉症や鬱病などの外国人を言語教育で治療」し、数多くの外国人を完治させ、国家試験に合格させてきた実績がある。 弊社の教育を是非、体感して欲しい。

外国人対応の「ノウハウを学べる」 無料 ZOOM 個別相談会(1時間)!!



★★ 教育相談を受けて「得」した施設 ★★

- ※ 外国人対応に問題が多い施設から教育相談の希望者が増加しています。その理由は、1時間の相談で外国人対応の考え方方が大きく変化したからです。さらに、職場の雰囲気作りにも大きな改善ができたからです。
- ※ 相談会での指摘は、職場に変化を起こします。その結果、人的・財政的に「得」をもたらします。貴施設のために、是非、ご利用下さい。



相談会「参加施設の声」

【高知県・G施設・事務職員の声】

- 同じ法人の別施設で過去にEPAを受入れた経験があった。その時は、自分で学習していただけで、施設は何もしていなかった。幸い、複数人が国家試験に合格できた。しかし、全員、都会に移ったり、帰国したりと誰も定着しなかった。
- この経験を踏まえ、教育指導の大切さを考えるようになり、さらに、定着してほしいと思っている。今は特定技能を受け入れて、国家試験に挑戦したい人向けに「日本語学習の強化」と「試験対策」が効率的にできるシステムを施設内で確立することを考え取り組んでいる。ことばの研究社のノウハウに興味があり参加した。貴社の指導法や教材を知ることができて良かった。是非、取り入れていきたい。

【兵庫県・K施設・相談員の声】

- EPAを長年受け入れて、合格者もいたが大都市に移り、一人も残らず、定着しなかった。
- それを反省して、EPAから特定技能に切替え受け入れている。この先、「人財育成と定着」が重要だと考えているために、相談会に参加した。外国人受入れの視点や、対応の仕方が大変参考になった。話の内容から、経営者や施設長に是非とも聞いて欲しいと思った。

【問合せ・お申し込み先】

ことばの研究社

電話：086-486-1742 FAX：086-486-1744

mail：kotoba_ken@yahoo.co.jp

※ 施設のご都合日の良い日時に実施できます。
何人でも参加可能です。

施設の声

リーダー的人財を育成する課題！！

- EPA 合格者を含め、介護在留ビザに切替て定着している人が 8 名と、特定技能で受け入れた人が一人いる。特定技能は、監理団体に任せ、自社で受け入れをしている。そのため、入国手続き等は、施設長自らが行うため、正直大変で、継続的な受け入れは考えられない。
- 技能生に国家試験を受験する希望があるか聞いたところ、満期で帰国するという希望があり、試験を受ける気持ちが全くない。
EPA と特定技能を受け入れてきたが、手続きの手間を考えると EPA の方が楽だったと後悔している。
- 定着している 8 名のうち、リーダー的な役割を果たせる人が一人いるので、助かっている。
今後は、外国人就労者が増えるために、外国人をまとめられる人財を育てることが一番の課題だ。

(東京都・A施設)

EPA・特定能は日本語文が書けない！

- 国が異なるために、監理団体は 2 社と契約して、技能・特定技能を 2 名受け入れている。受け入れる前の心配は日本語のレベルだったが、思っていた以上の意思疎通ができたので、安堵した。
以前 EPA のフィリピン人の男性を一人受け入れたことがあったが、日本語力の面で難しいなど感じた。なぜならば、学習時間を取らせたり、勉強をさせてはいたが、日本語力が高まらず、学習する意欲もなかったのが原因だった。
- 正直、メリットを感じなかったので、EPA の受け入れはもう考えられない。
- EPA は母国で少なくとも半年間、来日直後の研修でも半年間と、日本語教育をしているのに、なぜか、レベルが低いと、とても疑念を抱いていた。特定技能は、母国である程度の日本語教育を受けているし、監理団体の教育では、入職する前は EPA 程、教育に時間をかけてはいない。しかし、EPA とは違い、日本語力がある程度、身についていると感じる。だが、日本語で文を書く能力は、EPA も特定技能も、ともに無い。
- 母国と日本での日本語教育時間数は、2,000 時間以上あると言われているが、入職してすぐに業務ができない状態だということに、非常に疑問を持っている。EPA は国際厚生事業団が独占で行っているので、日本語の質の向上に力を入れてほしい。しかし、特定技能の場合は監理団体が数多くあり、特徴も様々で、受け入れ側としては選択する時に比較して採用できることが魅力だ。

(三重県・S施設)

驚き この考えは時代錯誤？！

- 最初は EPA を 4 名受け入れ、継続的に複数受け入れてきた。人手不足なので、何とかこの人達を育て、戦力にして国家試験にも合格してほしいと思っていた。
- 広島にも日本語学校はあるけれど、友達がいる学校で学びたいという要望があったので、新幹線を使って、京都の日本語学校まで通学させていた。その間は、仕事は休ませていので、現場の負担は大きかった。さらに、京都までの交通費も全額、施設が負担していた。そこまでした割には、全員、日本語力は入職当初と全然変わらず、現場での業務能力も正直なかった。即戦力になってほしいという期待は、全く持てなかった。
介護日誌は PC で打ち込む程度のことなのに、漢字が正しく選べなかったり、書く力は全くないレベルだった。
- 国家試験には二人合格できただけで、残りは不合格だった。受け入れは多人数だったことを考えると、全く結果が出ていない状態だと言える。
その上、合格した人も定着せず、結局、施設には一人も残っていない。
- 二年続けて複数人受け入れたが、こちらが思うような結果にならず、法人としては、外国人材はもう受け入れないという方針になってしまった。
しかし、日本人採用ができない今、誰を採用すればいいのかが、判断できない。外国人を切り捨てる考えがいいとは決して思えない。そのため、これは時代錯誤ではないかと思っている。

(広島県・E施設)

人手不足を留学生で補う！

- 留学生を 5 か国から受け入れ 20 名が在籍。ベトナム・インドネシア・バングラデッシュ・ネパール・フィリピン。週 28H 当施設でアルバイトをしていた。国家試験合格者は職員として半分以上の人人が働いている。
- 不便な所に施設があるために、買い物などは職員が送迎したり、病院に行く時は連れて行ったりと、外国人が増えれば増えるほど、管理することが負担になってくるのが実態だ。原付免許を取らせたりしているが、買い物などは車の方が便利なので定期的に連れて行く。「こんなことまでしなくてもいいのではないか」と思われるかもしれないが、日本人の採用が全くできない状態なので、本当に外国人に頼るしかないから、仕方なくしている。
- 当法人は大阪にも施設があるので、誰かを異動させると、「えっ、私は移動できないの？」と大阪の方がいいという反応を見せる人もいる。理事長の考えだが、今のところはこのまま留学生で継続して受け入れる方針にはなっている。

(和歌山県・G施設)